

2月13日(土)11:08 自宅でいきなり揺れ始めた。家がきしむ音、何かが落ちる音…揺れは長く続いたが、大震災のような体ごと持って行かれるような感じではなかった。「とうとう来たか…大きいな…津波くるか？」テレビ・スマホで確認。震度6強で津波はこない。3号配備は全職員出勤体制。急いで学校へ向かうと、すでに数人の職員が安全点検・暖房の復旧作業等に動いていた。すでに晩酌を楽しんでいた教員は、タクシーが配車できず、なんと歩いて学校まで来た。そう言えば、あの震災以来、学校管理職で晩酌する人は激減したように思う。

学校が新しいため、大きな損壊はなかったので、すぐに子供たちの安否確認一斉メール。夜中にすみませんでした。翌朝、7:00に再度、校舎の安全確認と通学路の安全確認。12:00の安否確認の第2弾は初めてGoogle Foamを使ったアンケート。ご家庭の物的被害はもちろん、子供たちの不安や動揺をいち早く把握し、15日(月)の朝には、心のケアに入りたかったからである。「寝ていて地震に気付いていなかった」子供もけっこういて、「あれで寝てられんのか！」と笑ってしまったが「激しく動揺した・動揺した」子供が過半数を超えた。どの子が動揺が激しかったかを15日(月)の朝の職員打ち合わせで確認し、声かけやフォローを全職員で行うことにした。まだ余震も続き、その度にビクビクしてしまう。油断なく、子供たちの命や安全を守りたい。

それにしても今週は大雨・暴風・雪・晴天とあらゆる天気が入れ替わりやってきた。保護者の皆さん、子供たちも体調の管理に十分、気を付けてほしい。